

第1分科会 教育について

幼児期・学童期・思春期の子育て

助言者 渡辺真由美

(新座市元教員)

司会 加藤 良美

記録 松本 優子



1. 参加者について

参加人数：30人

保育園保護者、保育士、学童保護者、学童指導員、教員、教育関係者など

参加者の子育ての打ち分け（参加者の子供の年齢の打ち分け）

	所属：保々連	学童
乳幼児期	5人	1人
小学校	2人	10人
中学校	1人	1人
高校	2人	1人

2. 助言者について

渡辺真由美さん 30年以上教諭として学校で勤務されていた。
現在は退職されて、新座市内のいくつかの小学校で新任補充のお仕事をされている。
子育ての悩みなどについて話せる場を設け、活動されている。

3. 参加者より自己紹介

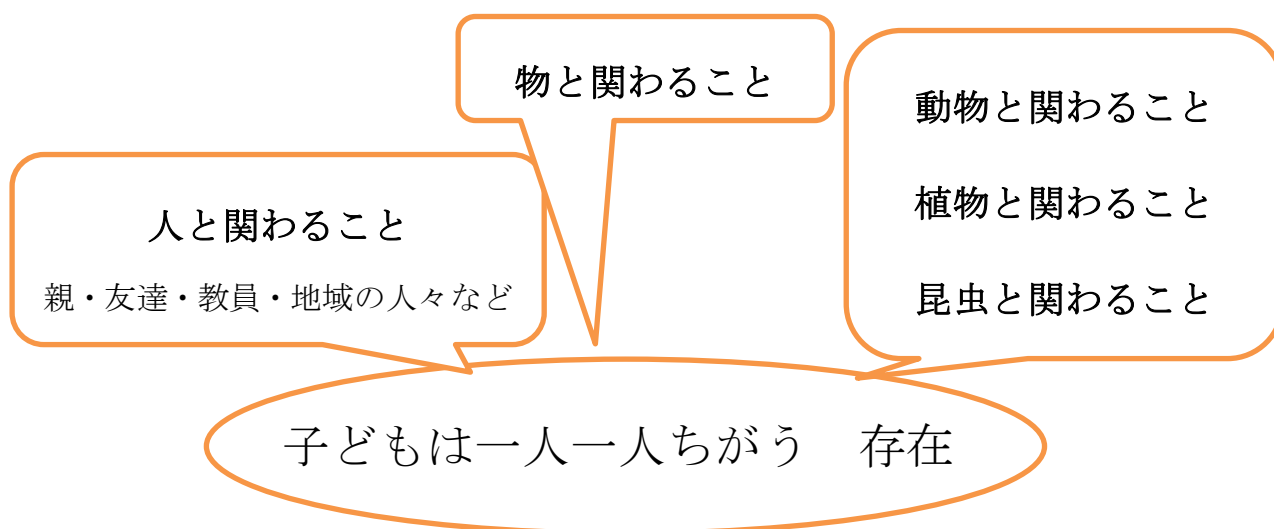
所属・名前・普段思っていること・気になっていることなど

- ・毎日の寝る時間
- ・兄弟げんかのことや、甘えたい気持ち
- ・怒ってしまうこと
- ・思春期になる前にどうしたら良いか
- ・学校現場で働いている、教員の臨時的採用が多い、現状を知って欲しい
- ・社会の格差、教育の格差が大きい、いろんな人の意見を聞きたい
- ・学校で勤務し、子育てのしてきた、何か話せることがあるなら
- ・怒ってしまう、いつもニコニコしようと思っているが
- ・初めて来た、何か聞ければ
- ・(助言者) 渡辺先生に見てもらった、今日は話を聞きに来た
- ・子育てはまだだが、為になること聞きたい
- ・新座で働き、渡辺先生ともつながりがある、今のことを聞きたい
- ・中1の息子が思春期
- ・渡辺先生に子どもがお世話になった、新座市の教育の骨太計画へ意見を書きたいが、現状を知らないので様子を聞きたい
- ・大会に何回か出ている、子育てについて何かあれば
- ・勉強しに来た、勉強したい

☆初めて参加する方も多かった。

☆現在子育ての方、子育てが終了している方、子どもの教育に関わっている方などいろいろな立場の方が参加していた。

4. 助言者より



この関わりから、毎日変わっていく、命の特性を持っている。

毎日の子どもとの関わりの中で、違う存在として捉えると、子ども自身が何を思うか？それを聞いていくと子どもも受け入れてくれる。

同じ叱り方も受け取り方が違う。

腹を立てるのは、ゆとりが無いから。教員も時間的、精神的ゆとりが無い⇒子どもにこうあるべき、と一斉に指導してしまう。

保護者の怒ってしまう忙しさとは？自分のせい、子どものせいではない。⇒社会のせい。社会を見る余裕がなくなっているとき。

ここに気が付かないと、子どもの欠点しか見えてこない。この状況に気づくことが大切。



学校にゆとりを。30人学級を。

★教育内容の変化

以前は、40分授業、下校時間14:30 授業時間放課後子どもたちは遊び、授業内容も授業内でクリアできた。

現在は、45分授業、4時近くの下校 下校後に遊ぶ時間もほとんどない、授業内容も中学校のよう。

自分の良さや夢を描けないことは誰のせいでもない 自分たちでこの状況を打破！



みんなで手をつなげ合わせよう！

★乳幼児期 抱きかかえてほしい

子どもが主体的に動くことにもつながり、関わる人は子どもの発信を受け止める。
子どもが要求してくるなら、自分から離れるまで抱きかかえてあげよう。

★小学校の時

この大人は自分のことを分かってくれる、という気持ちを育てる

大きくなった時に、自分から話せる人に。

★小学校から思春期

例えば・・・友達と遊んで帰りが遅くなった。



この時間は、人間関係の形成につながっている。安全ならば、たくさん経験させたい。



自立につながる

★中学校 保護者を、周りの人を、けむたがるのは当たり前のこと。



分かってくれる人

話せばわかってくれる人

母親に言えないことも言える人 そういう関係をつくっていくことが

大切。



自分から相談できる。

★学校の教員から

・埼玉県教員事情では、臨時的採用も多く、自分のような技能主事などの臨時職員の立場もいる。仕事は、自分のやりたいこと、子どもたちの為の教材研究、勉強したいことの思いはあっても、自分の今後の仕事や生活、試験などがあり思うようにいかない難しさがある。その数が増えている。

・現在中学校に勤務し、3年生の担任。

進学したいが、何をしたいか、どんな人になりたいか？を考える時期。

しかし、現在の中学校はテスト漬け 中3になっては定期テストのほかに毎月テストがある。



点数を取るための学校になってしまう、テストの為に学校があるわけではない。

現在の学校の動き 小学校・中学校での問題

男子 けんかが多い、持ち物の盗難

女子 ネット



中2では深刻化し、自殺につながる要因にもなりかねない。

つながりを作る

命の特性 一人一人ちがうこと

ちがう一人一人がいろいろなことに関わる⇒ちがうことに関わること



人間を豊かにする



主体的に社会に関わる



社会も変わる

教育学者 大田 堯

5. 新座市へ

・30人学級の実現へ 子どもたちにゆとりある生活を。

自由に活動できる空間、自主的に取り組めるような教育内容へ。

・教員が一人一人のちがいが分かり、一人一人に対しての指導ができるように。



時間的、空間的、精神的ゆとりへ。教員がゆとりある指導が、豊かな人間性を作る。

6. 私たちが行うこと

子どもたちが、自分の良さ、夢を描けるような社会を作る。

子どもたちが自分の思いを話せる、ネットワークを作る。

